

# 子どもたちの「できない」が「できた」につながる支援

～個々の特性を把握した育ちを支える対応～

本研修会は平成18年度より特別支援教育に関わる先生方とリハビリテーション専門職が連携し、子どもたちの活動や社会参加が広がることを目的に開催しています。

今年度は、発達障害児や重症心身障害児、医療的ケア児を含めた全ての障害のある子どもたちへの学校生活における支援をテーマに下記の研修会を開催します。また新型コロナウイルス感染対策も考慮し、オンラインを活用した方法で研修会を企画しました。オンラインによる開催のため、1拠点で複数の方の視聴も可能です。ご参加をお待ちしております。

◆ 講師: **鴨下 賢一** 先生

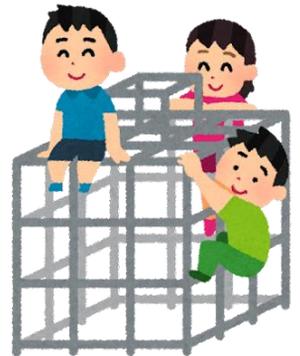
(株式会社児童発達支援協会 代表取締役 作業療法士)



## 鴨下賢一先生のプロフィール

1993年から27年間、静岡県立こども病院で勤務。未熟児、発達障がい、肢体不自由児、重症心身障がい児、整形外科疾患などを対象に、急性期からの治療を実践される。2019年4月より福岡県福津市に株式会社児童発達支援協会を創業され同年7月より「リハビリ発達支援ルームかもん」を開業される。

福祉用具の開発(Qリング、Qフレーム等)、書籍執筆『教室でできるタブレットを活用した合理的配慮・自立課題』、『苦手が「できる」にかわる！ 発達が気になる子への生活動作の教え方』等、特別支援教育に対する支援(学校などでの支援)にも数多く取り組まれている。



◆ 日時: 令和4年7月27日(水) 13時半から15時

◆ 共催: 石川県立小松特別支援学校 石川県立いしかわ特別支援学校  
石川県立七尾特別支援学校  
石川県リハビリテーションセンター

◆ 対象: 石川県内の特別支援学校、特別支援学級の教職員

放課後等デイサービス、認定こども園、保育所、幼稚園職員 等

◆ 開催方法: オンラインによる開催(Zoom)

**先着50拠点!**